

年 度	同線總數	比前年度之增	線			數			印 刷		
			單信	二重	結重 單信	四重	雙重 單信	自働		現波	電 話
明治二十一年度末現在	一四五	二〇									
同 二十二年〃	一七〇	二五									
同 二十三年〃	一九九	二九									
同 二十四年〃	二三六	三七									
同 二十五年〃	二七五	三九									
同 二十六年〃	二九九	二四									
同 二十七年〃	三三七	三八									
同 二十八年〃	三三八	一									
同 二十九年〃	四五二	一四									
同 三十年〃	五一九	六七									
同 三十一年〃	五四〇	二									
同 三十二年〃	五九六	五六									

同 三十三年〃	七二〇	二四	六〇三	八														
同 三十四年〃	八三	一〇二	六七〇	九														
同 三十五年〃	一〇〇一	一七九	七七七	九														
同 三十六年〃	一、一〇七	一〇六	七六二	九														
同 三十七年〃	一、一四四	三七	七六一	九														
同 三十八年〃	一、一七〇	二六	七九七	一〇														
同 三十九年〃	一、二二一	四	八二一	一〇														
同 四十年〃	一、三三五	一四	八四六	一〇														
同 四十一年〃	一、四四三	一八	八八六	一〇														
同 四十二年〃	一、六二七	一八四	九一〇	一〇														
同 四十三年〃	一、七九六	一六九	九三〇	一〇														
同 四十四年〃	二、〇三五	二二九	九四八	一〇														
大正元年〃	二、二一〇	七五	九六六	八														
同 二年〃	二、二六二	五二	九九二	九														



年 度	同線總數	前年度ニ比シテ増減	線 數				内				
			回	二重	結重	四重	雙重	自働	現波	電 話	印 刷
大正三 年度末現在	二,一九七	三五	一,〇〇一	八四	一三	一四	二	一九	七	一,〇五六	一
同 四 年	二,三五四	一五七	一,〇〇五	九二	一五	一三	二	二〇	八	一,一九九	一
同 五 年	二,四八四	一三〇	一,〇一七	九二	二三	一五	二	二二	八	一,三〇七	一
同 六 年											
同 七 年											
同 八 年											
同 九 年											
同 十 年											

備考

明治十八年以前ハ記録詳カナラサルヲ以テ之ヲ省ク又二十九年年度以前ハ回線内譯ヲ缺ク但シ明治二十四年十二月末日回線數百九十八ノ内單信百六十七、二重二、自働四、電話二五回線ナリ

第十七 回線電報通過數別表

(大正五年度末)

置裝機重二	單 信 機 裝 發								合 計
	二局 接續	三局	四局	五局	六局	七局	八局	〃	
一日通過數	八七	二〇	二二	三三	五一	三三	二二	四	二二五
同上	四	二六	七	一八	一四	五〇	五	一	三八
同上	三七	五	五九	三七	二〇	四	一	一	一八
同上	三	三六	三	三					六
同上	一〇	一八	一						四
同上	二								
同上									
同上									
同上									
同上									
同上									
同上									
同上									
合計	二二五	一四八	一七二	二〇九	一八七	七	九		二三八



機重二	機字單	
音現	現音現	
響字	現字及音響	
八三	一九三	二局接續
五	三	三局接續
二	四	四局接續
一	一〇〇	五局接續
一	一八	六局接續
一	四	七局接續
一	一	八局接續
一	九	合計
二〇八	六六	合計

第十八 回線通信方法別表

(大正五年度末)

總	置裝機	
計	六局	四局
一、五四八	〃	〃
四、五	一	一〇
二、六	一四	二〇
一〇〇		
四一		
一八		
二六		
三		
二		
三六		
二、四八四		
	一	一四
		二〇

話電	印電	現波	裝置	自働	雙信	重單	裝四	
三局	二局	二局	三局	二局	四局	三局	二局	
〃	接續	接續	〃	接續	〃	接續	接續	
三六八	八二四							一日通過
								電報數
								同上
								二百通
								同上
								三百通
								同上
								四百通
								同上
								五百通
								同上
								六百通
								同上
								七百通
								同上
								八百通
								同上
								九百通
								同上
								千通
								同上
								以千通
								同上
								合計
三六八	八二四		一	三	一	一	一	一五



總計	電話兼用電話	電信專用電話	印刷	現波	自働	四重響	重單信雙信音響	二局接續	三局接續	四局接續	五局接續	六局接續	七局接續	八局接續	合計
								四一五	三九九	一	五	一八	一五	一	一
一、二五六	四一五	三九九	一	五	一八	一五	一	二二	一四六	三	三	三	一	一	二八六
五四六	二二二	一四六	一	三	三	一	一	二八五	三	七	一	一	一	一	二八六
二八五	三	七	一	一	一	一	一	二二三	一	三	一	一	一	一	二八六
二二三	一	三	一	一	一	一	一	一八八	一	一	一	一	一	一	二八六
一八八	一	一	一	一	一	一	一	七	一	一	一	一	一	一	二八六
七	一	一	一	一	一	一	一	九	一	一	一	一	一	一	二八六
九	一	一	一	一	一	一	一	二四八四	六七二	六三六	一	八	二	一五	二

備考

表中×印ハ四重機ノ有極側ヲ以テ自働通信ヲ行フモノナリ

Table with multiple columns and rows of data, including numbers and small text, possibly representing a detailed breakdown of the communication methods mentioned in the adjacent table.



第十九號表 電報通數比較累年表

第一號表 國內外電報發着通數

Table with columns for year (年), telegrams sent (國內發信通數), telegrams received (國外發信通數), total (總計), and percentage change (與前年比之增減). Rows cover years from 1904 to 1926, with sub-rows for '有材料' and '無材料'.





年	電報數	臺灣朝鮮間發著通數	臺灣樺太間發著通數	臺灣滿洲間發著通數	朝鮮樺太間發著通數	樺太滿洲間發著通數	通	計	總計
三十一年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十二年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十三年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十四年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十五年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十六年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十七年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十八年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十九年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四十年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四十一年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四十二年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四十三年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四十四年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
元年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
二年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
五年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
六年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
七年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
八年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
九年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
十年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

備考

- 一、明治二年及三年ハ電報數詳カラララル以テ之ヲ省ク
- 一、朝鮮ヨリノ著信通數四十三年度分ハ同年十一月以後ノ通數ニシテ十一月以前ノ分及四十二年度以前ハ總テ國外ヨリノ著信通數ニ合算セラレ
- 一、關東州ヨリノ著信通數四十三年度分ハ同年十二月以後ノ通數ニシテ十一月以前ノ分及四十二年度以前ハ總テ國外ヨリノ著信通數ニ合算セラレ
- 一、殖民地ヨリノ著信通數ハ各殖民地ノ調査ニ依リテ揭記シ殖民地ノ調査キヤモノハ内地ノ調査ニ依レ
- 一、大正二年度以後ハ電報總計表格式改正ノ結果朝鮮ヲ除キ其他各殖民地ヨリノ著信通數ハ毎年十一月分ヲ報告スルコトナレテ依テ之十二倍シテ假ニ當該年度ノ總通ト見做セ
- 一、本表關東州トアルハ關東都府府管內全部ヲ云フ以下ニ同シ

第二表 殖民地相互間電報發著通數

年	電報數	臺灣朝鮮間發著通數	臺灣樺太間發著通數	臺灣滿洲間發著通數	朝鮮樺太間發著通數	樺太滿洲間發著通數	通	計	總計
三十一年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十二年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三十三年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四十二年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四十三年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四十四年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
元年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
二年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
三年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
四年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
五年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
六年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
七年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
八年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
九年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
十年度	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

備考

- 一、本表ハ内地ヲ經由シテ殖民地相互間ニ往復シタル發著通數ノ概算ヲ稱ス
- 一、前項ノ外電報調査上ニ關スル注意ハ第一號表ノ備考ニ同シ







附録 第二十 人口ト電報(通敷料金)トノ比較累年表

年 度	人 口	有料電報通敷	人口千人ニ對スル電報敷數	電報料金	人口千人ニ對スル電報料金
同 十 五 年	三六,七〇,一八	二,八六,九三〇	六七	一,二一九,三四五 <sup>四</sup>	三〇,五〇 <sup>四</sup>
同 十 六 年	三七,〇七,三〇二	二,五五,八五七	六七	八九一,一六四	二四,〇〇
同 十 七 年	三七,四五,一七六	二,六一,〇七八	六九	九〇七,〇六四	二四,一〇
同 十 八 年	三七,八六,八九七	二,五五,〇二八	六七	六四三,九八二 <sup>(九月分)</sup>	一七,〇〇
同 十 九 年 度	三八,五〇,一七七	二,四三,四〇〇	六三	七四九,〇七五	一九,五〇
同 二 十 年	三九,〇六,九六一	二,五五,八五七	六四	七三四,八〇一	一八,八〇
同 二 十 一 年	三九,六〇,七三四	二,七六,一〇四	六九	七六九,一八四	一九,四〇
同 二 十 二 年	四〇,〇七,一〇〇	三,四九,二六四	八五	九二四,八一〇	二三,〇〇
同 二 十 三 年	四〇,四三,四六一	四,一九,二五一	一〇一	一,二五六,五五五	三〇,一〇
同 二 十 四 年	四〇,七八,六七七	四,五〇,四三六	一一〇	一,四九三,五二七	三六,七〇
同 二 十 五 年	四一,〇九,九四〇	五,二四,八三七	一二六	一,七六三,六一五	四二,九〇
同 二 十 六 年	四一,三八,三二三	六,二四,八四四	一五〇	一,九六七,五四三	四七,五〇

年 度	人 口	有料電報通敷	人口千人ニ對スル電報敷數	電報料金	人口千人ニ對スル電報料金
同 二 十 七 年	四一,八三,二二五	七,八七,五八五	一八八	三,〇六一,一八二	七三,二〇
同 二 十 八 年	四二,二七,〇六〇	八,八〇,四六七	二〇八	三,五九〇,八一九	八四,九〇
同 二 十 九 年	四二,七〇,二六四	一〇,三五,二五五	二四二	三,四八二,九八一	八一,六〇
同 三 十 年	四三,二八,八六三	一三,二二,三二八	三〇五	四,二八六,二九九	九九,二〇
同 三 十 一 年	四三,七三,八五五	一四,〇〇,七八四	三二〇	四,四三八,九三九	一〇〇,一〇
同 三 十 二 年	四四,二六,〇六二	二二,八〇,七五〇	二九一	五,一四九,六八八	一一八,六〇
同 三 十 三 年	四四,八〇,九三七	二四,六七,三二二	三三七	六,〇七二,九九〇	一三五,三〇
同 三 十 四 年	四五,四六,八九二	二四,四七,〇一一	三二八	五,六六〇,四三三	一二一,四〇
同 三 十 五 年	四六,〇二,三〇九	一五,八二,六九七	三四三	五,六七八,一六〇	一二四,一〇
同 三 十 六 年	四六,七三,一三八	一六,八九,九一九	三六一	四,九〇七,五七五	一〇七,一〇
同 三 十 七 年	四七,二五,六三〇	一八,二四,〇九四	三八五	六,一〇四,二三六	一二九,三〇
同 三 十 八 年	四七,六七,四六〇	二〇,二〇,六七七	四二六	六,四五六,二二六	一三五,四〇
同 三 十 九 年	四八,一六,〇八五	二二,八〇,三七七	四五二	八,四八六,七一五	一七八,二〇
同 四 十 年	四八,八二,六九四	二四,五九,九二二	五〇三	八,八八三,七六九	一八二,九〇

附録 第二十 人口ト電報(通敷料金)トノ比較累年表



年 度	人 口	有料電報通數	人口千人ニ對スル電報數	電報料金	人口千人ニ對スル電報料金
明治四十一年度	四九,五八,七九八	二四,六五九,一一〇	四九七	八,六〇六,三二一	一七三,五五 <sup>四</sup>
同 四十二年	四九,九〇,〇〇〇	二五,〇三二,四二五	五〇二	八,七五七,七五八	一七五,四九
同 四十三年	五〇,四九七,六〇〇	二六,七一九,八六五	五二九	九,三八八,八六四	一八五,九三
同 四十四年	五一,一九,二〇〇	二九,〇〇七,三四六	五七九	一〇,三六三,八七三	二〇二,七四
大正元年	五一,七四八,六〇〇	三〇,七六六,三四二	五九五	一〇,八一三,三六七	二〇八,九二
同 二年	五一,九一,八〇〇	三〇,八八六,八二三	五八四	一〇,四九六,九七五	一九八,三九
同 三年	五三,六六,〇〇〇	三〇,五二,八五四	五六九	一一,三三八,三七二	二一〇,九〇
同 四年	五四,四三九,四〇〇	三一,七四一,八二八	五八三	一二,三三五,三三六	二六三,一五
同 五年	五五,二四,五〇〇	三八,二五四,五六二	六九三	一六,七〇一,八四二	三〇二,四四
同 六年					
同 七年					
同 八年					

同 九年	〃				
同 十年	〃				

備考

- 一、明治十年及同十一年ハ人口統計缺如セリ又本表ノ人口ハ明治四十年度以前ハ内地ノ本籍人口ニシテ同四十一年度以後ハ帝國統計年鑑ニ依ル但シ各年末内地ノ乙種現住人口數ナリ
- 一、有料電報通數ハ内地局所取扱ニ係ル内國發信及著信其他殖民地ヨリノ各著信通數ヲ統計シタルモノナリ
- 一、電報料金ハ内地局所ニテ收納セル内國電報料金(日清電報料ヲ含ム)外國電報料金(外國料ヲモ含ム)及電報附帶收入ノ總計ナリ

第二十一 局所ト面積及人口トノ比較累年表

年 度	電 信 局 數	電 信 一 局 所 二 對 ス ル	
		面 積	人 口
明治五年	一八	一,三七七,四六 <sup>方里</sup>	一,八三九,四九〇



附錄 第二十一 局所下面積及人口ノ比較累年表

年 度	電 信 局 數	電 信 一 局 所 積 人 口	
		面 積	對 比
明治六 年	二六	八八五、五二 <sup>方里</sup>	一、二八九、三〇〇
同 七 年	三四	七二九、二五	九八八、九九一
同 八 年	四七	五二七、五四	七三三、三五〇
同 九 年	五二	四八六、一六	六七三、三〇二
同 十 年	六八	三六四、六二	?
同 十 一 年	九七	二五五、六一	?
同 十 二 年	一二三	二二一、三八	三一九、三六二
同 十 三 年	一五五	一五九、九六	二三一、八〇〇
同 十 四 年	一六九	一四六、七一	二二五、一四二
同 十 五 年	一八五	一三四、〇二	一九八、三七九
同 十 六 年	一九五	二二七、一五	一八九、八三二
同 十 七 年	二二三	二一六、九五	一七六、六五九

一九六

附錄 第二十一 局所下面積及人口ノ比較累年表

同 十 八 年	二二五	一一五、三一	一七六、一三五
同 十 九 年 度	二二七	一一四、二六	一七七、四五二
同 二 十 年 〃	二三五	一〇五、五〇	一六六、二五四
同 二 十 一 年 〃	二九九	九五、七一	一五二、九二四
同 二 十 二 年 〃	三二一	七九、七二	一二八、八四九
同 二 十 三 年 〃	四〇七	六〇、九一	九九、三九七
同 二 十 四 年 〃	五三三	四七、四〇	七七、八五六
同 二 十 五 年 〃	六三二	三九、二三	六五、〇一六
同 二 十 六 年 〃	七二五	三四、六七	五七、八八六
同 二 十 七 年 〃	七五九	三二、六六	五五、〇九〇
同 二 十 八 年 〃	七八四	三二、六二	五三、九一七
同 二 十 九 年 〃	一、一三三	二二、〇九	三八、〇六四
同 三 十 年 〃	一、二五六	一九、七四	三四、四一八
同 三 十 一 年 〃	一、二六九	一九、五三	三四、四八七

一九七



附錄 第二十一 局所ト面積及人口トノ比較累年表

年 度	電 信 局 數	電 信 一 局 所	
		面 積	入 口
明治三十二年度	一,四四七	一七,一三三	三〇,五八八
同 三十三年	一,六四八	一五,〇〇四	二七,一八八
同 三十四年	一,八五五	一三,三三八	二四,五二五
同 三十五年	二,一九二	一一,三〇〇	二二,三三二
同 三十六年	二,四九三	九,九四	一八,九二六
同 三十七年	二,五四六	九,七三	一八,五四五
同 三十八年	二,六〇〇	九,五三	一八,三三六
同 三十九年	二,八一五	八,八〇	一七,二四〇
同 四十年	三,一八三	七,七六	一五,四五六
同 四十一年	三,五七一	六,九四	一四,四〇九
同 四十二年	三,九五二	六,二九	一三,六六四
同 四十三年	四,二六八	五,八三	一二,八七六

一九八

同 四十四年	四,六五七	五,三六	一一,〇四三
大正元年	四,七七九	五,二七	一〇,八九七
同 二年	四,八〇六	五,二四	一一,四九〇
同 三年	四,九三六	五,二	一〇,九八六
同 四年	五,一一二	四,九六	一〇,七八〇
同 五年	五,三三七	四,七〇	九,六四六
同 六年			
同 七年			
同 八年			
同 九年			
同 十年			

備考

一、本表ノ面積ハ臺灣及樺太ヲ除キ貳萬四千七百九十四方里三六トス  
 一、人口ハ本籍人口トス但シ明治十及十一ノ兩年ハ統計缺如セリ



第二十二 無線電信局發着電報通數表  
其ノ一 無線電信陸上局 (大正五年度)

局名	等級	內國電報發信數		外國電報發信數		外國電報著信數		合計		中繼信 右側內國信 左側外國信
		有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	
船橋無線電信局	一等局	二	二七九	一	二八〇	一	一六	二	七五	六六八四
銚子無線電信局	二等局	七	一八四九	三	五	五	二	八五	一九六	一〇九八九
潮岬無線電信局	〃	一一九	七五六	一九	一	一	一	一三八	七五六	一四〇一
角島無線電信局	〃	一一〇七	二,三三一	一五	一	二	一	一三四	二,三三一	五,六三六
大瀬崎無線電信局	〃	五六八	三,二五	一九	三	四	六	五九一	三,一四三	一六,二八四
落石無線電信局	〃	一六	二,四六七	五	五	五	二〇	一七八	二,五四三	一〇,七九一
下津井無線電信局	〃	一六〇	一,〇四四	二	二	一	一	一六二	一,〇四七	一,五八四
ラサ島無線電信局	〃	一一九	四二	一	一	一	一	一一九	四二	一三七
舞鶴取扱所	〃	一	一七	一	一	一	一	一	一七	一四五
合計	一	四七九二	二二,二八九	六四	四〇六	一七	二二四	四,八七三	二二,九〇九	四六,九三〇

其ノ二 無線電信船舶局 (大正五年度)

局種別	年度末局所數	內國電報發信數		外國電報發信數		外國電報著信數		合計		中繼信 右側內國信 左側外國信
		有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	
船舶局(二等局)	五	二五,〇七二	八二七	六八八	二九	一,二八三	一六	三三,一九三	八五二六	三〇三
船舶內取扱所	三	三,一四八	一六七	一,三四六	二〇	一六四	一八	四,六五八	一,六五五	二五
合計	三	二八,二二〇	九八八	八,二四四	一四九	一,四四七	一三四	三七,八五一	一〇,二七一	三三八
合計	一	四七九二	二二,二八九	六四	四〇六	一七	二二四	四,八七三	二二,九〇九	四六,九三〇



大正七年十月十八日印刷  
大正七年十月二十日發行

發行者

遞信省通信局工務課

印刷者

遞信大臣官房經理課

The right page of the document features a large, faint grid or table structure. The grid is composed of approximately 10 columns and 10 rows. The text within the grid is extremely light and illegible, appearing to be a technical drawing or a data table. The grid is centered on the page and occupies most of its width and height.



371  
139

大正十二年六月二十一日  
大正十二年六月二十一日

大正十二年六月二十一日  
大正十二年六月二十一日



終